

「先般、反貧困ネットワーク埼玉代表である藤田孝典さん本人も参加し、反貧困ネットワーク埼玉のメンバーによる会議を開催し、貴団体から送付された「抗議書」の内容を共有するとともに、意見交換を行いました。

性風俗産業で働く人の尊厳や人権保障が最も重要であること、事業者による「搾取」はあってはならないことについては、意見が一致しました。この点は、貴団体においても、最大限重視されている点だと思われ、また、藤田さんにおいても同様です。

他方、そもそも性風俗という働き方そのものをどう考えるか、風俗産業に対する規制のあり方、藤田さんがツイッターという表現方法をとることの妥当性、現に働いている人に対する影響等については、藤田さんの意見に対する賛否両論あり、様々な意見が出されたところです。

そもそも、藤田さんの発言は反貧困ネットワーク埼玉の活動とは異なる個人としての意見表明であること、反貧困ネットワーク埼玉は、多様なメンバーが参加し、個々の立場や意見を尊重しつつ、貧困問題の解決を目的とする緩やかなネットワークであることなどから、貴団体の「抗議書」について、これ以上のコメントをすることは困難という結論となりました。」